



薄暮時・夜間の交通事故防止



日没が早まるにつれて、自動車や自転車、歩行者などの発見がお互いに遅れたり、距離や速度が分かりにくくなります。**ドライバーは早めのライト点灯**、**歩行者は反射材の着用**等で自分の存在をアピールして、交通事故防止に努めましょう。

薄暮時間帯に交通事故の発生が多くなっています！



◇早めのライト点灯とハイビームの適切な使用◇

秋・冬季（9月～2月）は午後4時からライトを点灯しましょう。
対向車や先行車がない場合は、ハイビームを適切に使用し、いち早く危険を発見して回避する運転を心掛けましょう。

照射距離の違い

ライト点灯推奨時刻

3～5月 午後5時から
6～8月 午後6時から
9～2月 午後4時から



曇りや雨、雪等の時にもライトを点灯しましょう！

◇反射材用品の着用～反射材で輝こう～◇

【夜間、ドライバーから歩行者が見える距離の目安】（下向きライトの場合）

反射材着用

約57m以上

明るい服装

約38m

暗い服装

約26m



その差は歴然！



「暗くなってから反射材を身につける」では忘れてしまうこともあるので、「**暗くなったときに役立つ！**」ように普段から持ち歩くものに反射材を取り付けておきましょう。

